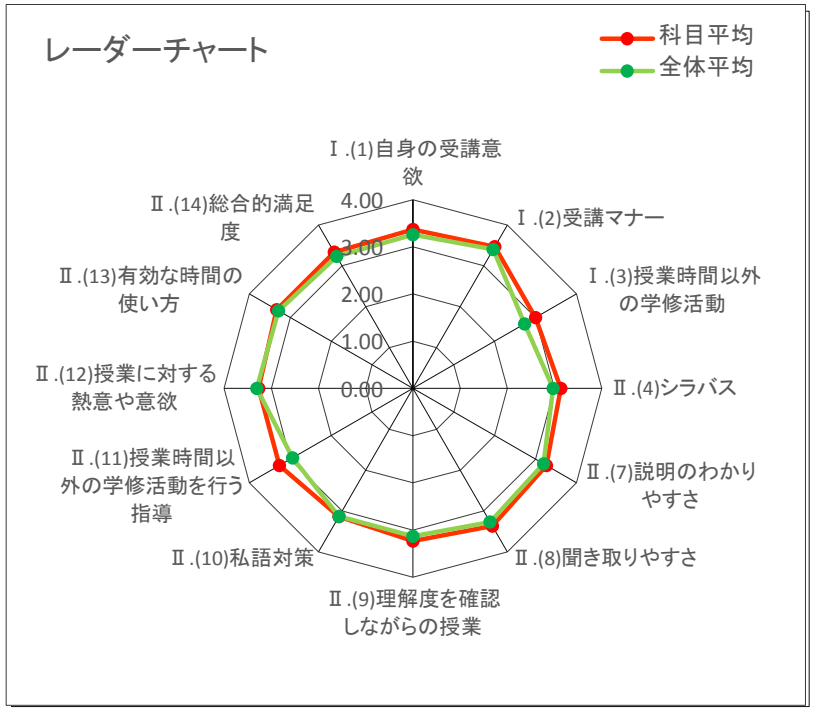
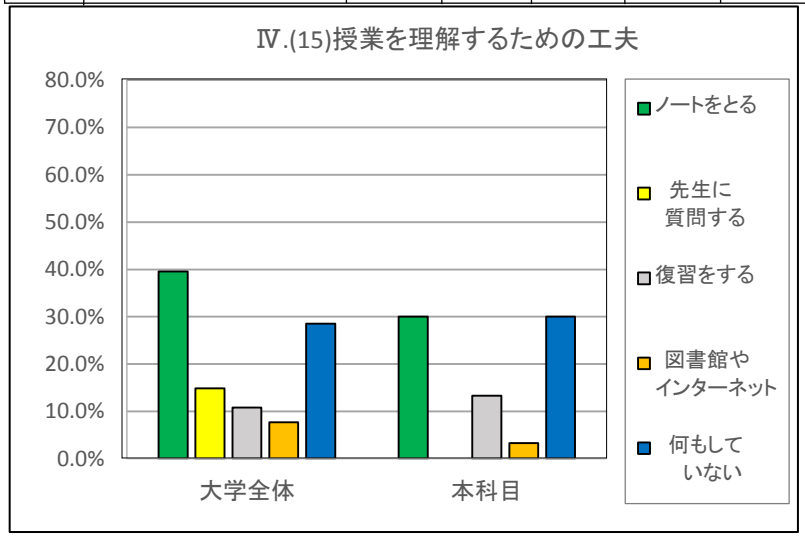
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.37	3.26
	Ⅰ.(2)	3.47	3.40
	Ⅰ.(3)	3.00	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.13	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.27	3.20
	Ⅱ.(8)	3.37	3.27
	Ⅱ.(9)	3.23	3.13
	Ⅱ.(10)	3.13	3.13
	Ⅱ.(11)	3.27	2.94
	Ⅱ.(12)	3.27	3.31
	Ⅱ.(13)	3.33	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.33	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	30.0%	0.0%	13.3%	3.3%	30.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.28	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.25	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.33	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	44357
科目名	財政学Ⅰ/財政学
教員名	

①授業計画の達成度について

設問4(シラバス)について、全体平均を上回る評価であり、設問5,6(難易度)についても、ほぼ全体平均(少し難しい)であった。
授業計画は達成されたと考えている。
難易度について補足すると、少し難しいレベルに達成するのが妥当と考えており、その上で満足度を高められればと考えている。

②授業の進め方について

授業の進め方(設問7,8,9,10,14)についても、全項目で全体平均を上回る、あるいは同等の評価を得た。
受講生の意欲の高さが表れた結果だと判断している。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

ほぼ全項目において全体平均を上回る評価が得られた。総合評価としての満足度についても高い評価が得られたと考えている。
項目15の「授業を理解するための工夫」において、「ノートを取る」を含めて少し低調であり、工夫の必要なく理解できている、ということであれば問題ないのであろうが、「工夫してもらう為の工夫」の必要性を感じている。今後の改善課題としたい。

奈良学園大学